

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第1 試合 (1回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 10:00~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	32	—	15	得点	チーム名
	延岡学園	130	29	—	18	70	川内
			40	—	21		
			29	—	16		

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩田大輝	28	5	5	3	1
5	ジョフバンバ	31	4	8	3	2
6	寺原拓史	10	2	2	0	1
7	黒木亮	4	0	1	2	3
8	田中駿也	8	1	1	3	1
9	善家耕太郎	4	0	2	0	4
10	岡本飛竜	5	1	1	0	1
11	平岡大志	7	0	2	3	1
12	佐藤友弘	0	0	0	0	0
13	寺園脩斗	0	0	0	0	0
14	ペンドラメ礼生	20	1	7	3	1
15	山田省吾	13	0	6	1	1
16	平田貴大	0	0	0	0	0
17	中島蒼	0	0	0	0	1
18	安堂遼	0	0	0	0	0
合計		130	14	35	18	17

チーム名						
川内						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	田中一輝	10	2	0	4	5
5	星元康嵩	0	0	0	0	0
6	丸山大貴	3	0	1	1	2
7	児玉真悟	3	1	0	0	0
8	有村武司	0	0	0	0	0
9	前田隼大	13	0	4	5	3
10	田中尚樹	4	0	2	0	2
11	石塚千暁	0	0	0	0	0
12	土器手啓詞	30	4	8	2	2
13	梶口和樹	0	0	0	0	0
14	瀬戸口大貴	0	0	0	0	0
15	山門幸基	0	0	0	0	1
16	山之内駿	0	0	0	0	0
17	村野優人	7	0	1	5	0
18		0	0	0	0	0
合計		70	7	16	17	15

☆戦評

1Q立ち上がり、川内マンツーマンディフェンスに対し、延学オールコートマンツーマンディフェンスからの速攻と、#5ジョフのリバウンドで試合の主導権を握る。残り2分延学オールコートから2-3ゾーンディフェンスで川内のミスを誘い、延学#14ペンドラメの3連続スチール等による連続ゴールで延学が一気に突き放す。

2Qに入っても延学はオールコートから2-3ゾーンディフェンスで相手のミスを誘い速攻で点数を重ねる。対する川内も、リズムの良いパス回しから、#12土器手を中心に点を取るがディフェンスからリズムを作った延学が大きくリードし前半を終了する。

3Q川内#12土器手の連続ゴールなどで反撃に出るが、延学の激しいディフェンスの前に点差は縮まらず、反対に5分過ぎ川内のミスから#4#5#14の連続3P等で流れを一気に延学ペースへと引き戻す。残り1分41秒川内#12土器手のレイアップに延学#5ジェフがシュートブロックした際に交錯し、ジェフが負傷退場するが、戦況に影響はなく、延学の選手層の厚さが強く感じられた。

4Q川内も中盤より2-3ゾーンディフェンスに変えるが、延学の2-2-1オールコートゾーンプレスから2-3ゾーンディフェンス等、素早く変化するディフェンスに終始苦しんだ展開であった。

リズムの良いオフェンスで流れをつくる川内に対し、自力に勝る延学が、素早く強いディフェンスで試合の流れを終始握った試合であった。

担当者(伊藤啓一)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第1 試合 (1回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 10:00~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	32	—	21	得点	チーム名
	長崎西	112	25	—	17	82	鳥栖工業
			29	—	21		
			26	—	23		

チーム名						
長崎西						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山口 拓哉	2	0	1	0	2
5	深江 龍翼	20	1	8	1	3
6	浦里 竜二	6	0	2	2	0
7	草野 亜哉	15	1	5	2	1
8	城戸 駿佑	22	0	10	2	4
9	大島 正也	4	0	2	0	1
10	吉村 天心	4	0	2	0	4
11	城戸 勇太	3	1	0	0	0
12	峰 穂雄	0	0	0	0	0
13	古瀬 稜河	8	0	4	0	3
14	森山 世隆	5	1	1	0	1
15	大坪 優大	21	5	3	0	3
16	木下 遼	0	0	0	0	2
17	宮崎 周	0	0	0	0	0
18	一釣 凌佑	2	0	1	0	0
合計		112	9	39	7	24

チーム名						
鳥栖工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山口 翔平	35	2	12	5	2
5	松田 真弥	13	0	6	1	1
6	八谷 克寿	8	0	4	0	1
7	高尾 諒	11	0	4	3	5
8	園田 哲史	6	0	2	2	2
9	永重 知靖	4	0	2	0	0
10	鶴田 義彦	2	0	1	0	0
11	高尾 昌樹	0	0	0	0	0
12	大串 悠祐	3	0	1	1	0
13	安都間 聖矢	0	0	0	0	0
14	片江 和也	0	0	0	0	0
15	藤田 翔	0	0	0	0	2
16	副島 佑太	0	0	0	0	0
17	三宅 健太	0	0	0	0	0
18	野田 靖弘	0	0	0	0	0
合計		82	2	32	12	13

☆戦評

お互いハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。出だしから、長崎西の#15の3P、#5のインサイドで得点を重ね開始3分で18-5とリードする。ここで鳥栖はタイムアウトを取り、オールコートマンツーマンで反撃を試みる。鳥栖は#4のミドルで何とか食らいつこうとするが差がつかず、33-21で1Qを終了する。

2Qに入っても長崎西#15の連続3Pなどで流れが変わらない。残り8分鳥栖の#5のインターセプトから攻撃のリズムができる。長崎西の連続ターンオーバーを誘うが、得点につなげることができない。残り6分で長崎西がタイムアウト。ここから落ち着きを取り戻した長崎西は、#7のドライブ、#15の3Pで引き離しにかかり57-38で前半を終了する。

3Qに入ると、長崎西はリバウンドからの得点、鳥栖はアウトサイドを中心とした攻めで点の取り合いとなる。残り5分、鳥栖はタイムアウトをとり、2-3のゾーンに変える。しかし、長崎西#7の3P、#8のインサイドでゾーンを攻略。差をさらに広げる。4Qでは、長崎西の激しいディフェンスからの速攻とリバウンドからの得点で、鳥栖の反撃を退け112-82で勝利した。

担当者(原田 直和)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第2 試合 (1回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 11:30~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	22	—	11	得点	チーム名
	九州学院	76	13	—	23	69	小祿
			24	—	13		
			17	—	22		

チーム名						
九州学院						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	本部 達也	9	0	3	3	1
5	石井 寛二	15	0	6	3	3
6	森川 湧斗	11	1	3	2	1
7	出口 凌大	13	2	1	5	3
8	坂梨 佑太	0	0	0	0	0
9	澤邊 圭太	22	0	10	2	4
10	鎌崎 空也	0	0	0	0	0
11	黒田 章吾	6	0	2	2	4
12	宇佐 仁孝	0	0	0	0	0
13	井芹 将斗	0	0	0	0	0
14	竹内 大樹	0	0	0	0	0
15	鹿田 紹義	0	0	0	0	0
16	山口 恵史	0	0	0	0	0
17	高本 悠紀人	0	0	0	0	0
18	田尻 裕明	0	0	0	0	0
合計		76	3	25	17	16

チーム名						
小祿						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	頭山 竜之介	6	0	3	0	3
5	知花 将吾	11	0	4	3	3
6	新垣 篤	1	0	0	1	3
7	金城 響	13	2	3	1	5
8	宮国 拓磨	7	1	2	0	2
9	下門 亮悟	12	0	5	2	4
10	山城 聖矢	0	0	0	0	0
11	比嘉 一都	13	2	3	1	2
12	武富 星哉	2	0	1	0	1
13	根間 涼也	0	0	0	0	0
14	砂川 宜仁	0	0	0	0	0
15	砂川 俊規	4	0	2	0	2
16	仲田 漠	0	0	0	0	0
17	城間 拓也	0	0	0	0	0
18	嘉陽 啓太	0	0	0	0	0
合計		69	5	23	8	25

☆戦評

第一Q九州学院は、1-1-3のゾーン、小祿はマンツーマンのDFでスタート。九州学院は#8, #9のリバウンドシュートから得点を重ねる。小祿は#9を中心に攻める。小祿の#7の3Pが決まりリードするが、九州学院は、DFをハーフに入ってダブルチームに行くようになり、小祿のミスが多くなる。数多くのメンバー交代をし、DFも多彩に変化させるが、流れも変わらないまま1Qは、22-11で九州学院リードで終了。第2Q、小祿はゾーンDFから入る。九州学院は小祿のゾーンディフェンスを攻めあぐむ。小祿は#5のドライブや#7の3Pなどで徐々にペースをつかみ、最後はオールコートでミスを誘い、ついに1点差として、35-34九州学院の1点リードで前半が終了。3Q両チームともオールコートDFから入る。九州学院#7の個人技で点差を10点差とする。小祿は#9のファールも嵩みリバウンドで苦しみ、九州学院が12点差をつけて3Q終了。4Q開始、小祿はDFをマンツーマンかえ#11の3Pがら始まる。ミドルシュートも立て続けに入り、残り8分、6点差になったところで九州学院がタイムアウトをとるが小祿のソッコーが決まり残り3分ついに逆転。そこで九州学院がタイムアウト。九州学院は3-2ゾーンに変えフリースロー、ミドルシュートで再逆転し3点差となったところで小祿がタイムアウトをとるが3Pが決まらず、逆に残り1分、九州学院の#7の3Pが決まり8点差となったところで小祿が2回目のタイムアウトを取るが、シュートが決まらず、最後に意地の3Pを決めるが7点差で試合終了。

担当者(三笠 富洋)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第2 試合 (1回戦)																										
日時	平成23年2月12日(土) 11:30~																										
会場	福岡市民体育館																										
対戦結果	チーム名	得点	<table border="0"> <tr><td>(</td><td>11</td><td>—</td><td>29</td><td>)</td></tr> <tr><td></td><td>17</td><td>—</td><td>22</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>16</td><td>—</td><td>33</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>21</td><td>—</td><td>15</td><td></td></tr> </table>			(11	—	29)		17	—	22			16	—	33			21	—	15		得点	チーム名
(11	—	29)																							
	17	—	22																								
	16	—	33																								
	21	—	15																								
	柳ヶ浦	65				99	福大大濠																				

チーム名							
柳ヶ浦							
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則	
4	後藤 史成	14	2	4	0	1	
5	重 和希	0	0	0	0	0	
6	大庭 宏一	2	0	1	0	1	
7	吉山 亨	16	0	5	6	2	
8	阿部 遼	0	0	0	0	0	
9	阿部 唯人	0	0	0	0	1	
10	新垣 萌	14	0	5	4	4	
11	大野 仁士	13	2	2	3	3	
12	前田 大輝	0	0	0	0	2	
13	岸本 勝吾	0	0	0	0	0	
14	山村 宏	6	0	3	0	5	
15	石川 丈	0	0	0	0	0	
16	佐藤 圭	0	0	0	0	1	
17		0	0	0	0	0	
18		0	0	0	0	0	
合計		65	4	20	13	20	

チーム名							
福大大濠							
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則	
4	福元 直人	22	0	11	0	1	
5	能隅 彰太	12	0	6	0	2	
6	渡邊 秀人	14	1	5	1	1	
7	高野 慎也	5	0	2	1	1	
8	徳住 颯晟	10	0	5	0	3	
9	村越 圭佑	17	0	8	1	2	
10	元田 大貴	2	0	1	0	0	
11	淵上 幸作	0	0	0	0	1	
12	石川 雅朗	4	0	1	2	3	
13	高妻 進之介	8	0	4	0	2	
14	中尾 涉	2	0	1	0	2	
15	水江 祐稀	0	0	0	0	0	
16	八谷 皓	0	0	0	0	0	
17	青木 春磨	1	0	0	1	1	
18	原 大和	2	0	1	0	1	
合計		99	1	45	6	20	

☆戦評

大分県1位の柳ヶ浦と、地元福岡県2位の大濠との対戦。1Q序盤、大濠は相手のミスとDefリバウンドからの速攻で得点を重ねる。対する柳ヶ浦も#7を起点にしOffを組み立てるが得点に繋げることができずリズムに乗れない。大濠は、2Qも同様にDefからリバウンド、ルーズボールを確実にマイボールにして速いOffを展開していく。ハーフコートOffでも#4の多彩なアシストで得点を重ねていく。柳ヶ浦も残り4分オールコートゾーンプレスから#7、#10の1対1で反撃を試みるが、前半を51対28の大濠リードで折り返す。

3Q立ち上がり、柳ヶ浦はテンポの良いパス回しから、#11の3P、#4のミドルシュートが決まり、点差を縮めようと激しいDefを仕掛けるが、高さで勝る大濠は#8、#9のゴール下、#4の個人技で得点を重ね、柳ヶ浦の反撃を阻止する。4Q柳ヶ浦は、積極的に3Pシュートを狙っていくが決めることができない。

柳ヶ浦の中心選手である#7吉山に対して大濠#5能隅が厳しいDefを仕掛け、終始リズムを狂わせた。高さで勝る大濠は終始リバウンド、ルーズボールを制してペースを掴むと、速いOffで得点を重ね99対65で勝利した。

担当者(多田 賢司)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第3 試合 (1回戦)																
日時	平成23年2月12日(土) 13:00~																
会場	福岡市民体育館																
対戦結果	チーム名	得点	<table border="0"> <tr><td>24</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>23</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>15</td></tr> <tr><td>22</td><td>—</td><td>14</td></tr> </table>	24	—	17	25	—	23	12	—	15	22	—	14	得点	チーム名
24	—	17															
25	—	23															
12	—	15															
22	—	14															
	興南	83		69	大分舞鶴												

チーム名						
興南						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	上原大輝	31	1	8	12	1
5	島袋大輔	9	0	3	3	2
6	税所啓	16	1	5	3	3
7	仲村兼太	8	0	4	0	0
8	仲西智彦	3	1	0	0	0
9	嘉数潤也	16	1	6	1	1
10	知名大志	0	0	0	0	4
11	久場兼蔵	0	0	0	0	0
12	大仲良樹	0	0	0	0	1
13	上地阜月	0	0	0	0	0
14	寄川龍功	0	0	0	0	0
15	照喜名航	0	0	0	0	0
16	豊見山俊	0	0	0	0	0
17	比屋根和太	0	0	0	0	0
18	満島光太郎	0	0	0	0	0
合計		83	4	26	19	12

チーム名						
大分舞鶴						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	堀高司郎	9	1	3	0	5
5	高山竜之介	8	1	2	1	4
6	宗楓馬	0	0	0	0	0
7	檜原凌	0	0	0	0	0
8	岡部真之介	4	0	0	4	2
9	鈴木貴登	6	0	3	0	2
10	首藤啓吾	4	0	2	0	3
11	財前大輝	31	7	5	0	0
12	渡辺翼	6	1	1	1	2
13	足立雄貴	1	0	0	1	1
14	羽田祥平	0	0	0	0	0
15		0	0	0	0	0
16		0	0	0	0	0
17		0	0	0	0	0
18		0	0	0	0	0
合計		69	10	16	7	19

☆戦評

1Q両チームともにマンツーマンディフェンスから早いリズムの攻撃で、序盤、興南#6税所#9嘉数#4上原のアウトサイドシュートが決まり先行する。対する舞鶴も、#5高山#4堀の3P等で応戦し、終盤舞鶴#11財前の連続ゴールで差を縮めるが、興南#4上原#6税所のアウトサイドシュートが決まり、興南7点リードで1Qを終了する。

2Q興南#4上原を中心に得点を重ねる、舞鶴も#11財前の連続ゴールなどにより一進一退を繰り返す。残り5分を切ったところで、興南#6のスチール等で差を広げるが、舞鶴は残り5分にタイムアウトを取るが流れは変わらず、たまたま残り3分に2度目のタイムアウトを取る。残り2分から舞鶴はゾーンディフェンスに変え、舞鶴#11財前#12首藤の連続3Pで追いつき、9点差で前半を終了する。

3Q序盤興南はゴール下のシュートが決まらず点が取れない。反対に舞鶴は、#11#4のアウトサイドシュートなどで点を取り、残り6分1点差まで追いつく。そこから一進一退の攻防が続くが、平均身長で勝る興南が6点リードで3Qを終了する。

4Q舞鶴はアウトサイドのシュートが落ち始める。それに対して興南はペイントエリア内での得点を重ねる。残り3分舞鶴#4堀のファールアウトを期に徐々に点差が離れペイントエリア内を制した興南が14点差で逃げ切った。

担当者(伊藤啓一)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第3 試合 (1回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 13:00~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	12	—	25	得点	チーム名
	佐賀北	59	6	—	11	77	れいめい
			24	—	17		
			17	—	24		

チーム名							
佐賀北							
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則	
4	井上 祐希	4	0	1	2	0	
5	松本 匡平	7	1	2	0	0	
6	藤井 宣彰	14	0	5	4	0	
7	真島 大輝	1	0	0	1	0	
8	村上 雄磨	13	1	5	0	0	
9	中原 亮輔	0	0	0	0	0	
10	水頭 一貴	10	0	5	0	0	
11	本村 拓郎	6	0	3	0	0	
12	野田 弾	2	0	1	0	0	
13	柴田 将太郎	0	0	0	0	0	
14	白濱 恭知	0	0	0	0	0	
15	牟田 圭吾	0	0	0	0	0	
16	江副 匡紀	0	0	0	0	0	
17	千々岩 晃一郎	0	0	0	0	0	
18	江頭 大我	2	0	0	2	0	
合計		59	2	22	9	0	

チーム名							
れいめい							
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則	
4	濱田 純旗	10	0	5	0	0	
5	坊ノ下 佳樹	21	1	7	4	0	
6	賦 句圭亮	2	0	1	0	0	
7	丸田 潤	9	1	3	0	0	
8	前田 啓	2	0	1	0	0	
9	大井 智義	5	0	1	3	0	
10	福元 聖人	0	0	0	0	0	
11	村上 聖将	0	0	0	0	0	
12	田畑 玲次郎	0	0	0	0	0	
13	重留 翼	3	0	1	1	0	
14	黒木 大輔	0	0	0	0	0	
15	竹山 雅道	0	0	0	0	0	
16	下川 侑祐	0	0	0	0	0	
17	福重 直洋	0	0	0	0	0	
18	川口 慧	25	0	11	3	0	
合計		77	2	30	11	0	

☆戦評

1Q立ち上がり、ともにマンツーマンディフェンスでスタート。硬さが目立つ佐賀北に対しれいめいは着実に得点する。残り5分で得点が伸びない佐賀北は、フルメンバーチェンジを行い反撃を試みる。しかし、れいめいは#4のドライブや#18のインサイドで得点し突き放しにかかる。一方、佐賀北は#5の速攻や3Pで何とか食らいつくが25-12れいめいリードで終了。2Q開始にれいめい#5のドライブ、#4の3Pで得点するが、その後、お互いに得点が伸びない。残り6分で佐賀北が、タイムアウトをとるが、流れは変わらず、36-18れいめいリードで前半を終える。

3Qれいめい#18に連続ポイントを許すなど、なかなか点差が縮まらない佐賀北は、残り4分でタイムアウトをとり、オールコートで激しくプレッシャーを与える。相手のミスを誘うと、#8、#10のドライブで11点差まで追い上げて3Qを終了する。4Q一気に追い上げたい佐賀北は、引き続きオールコートでプレッシャーを与え続けるが、れいめいは#4を中心とした冷静なボール運びを行い着実に点を重ねる。終始、落ち着いたプレーをしたれいめいが、77-59で勝利した。

担当者(原田 直和)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第4 試合 (1回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 14:30~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	25	—	17	得点	チーム名
	西海学園	86	28	—	12	64	大津
			13	—	7		
			20	—	28		

チーム名						
西海学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	林 田 順 平	18	1	6	3	2
5	米 満 圭 輔	0	0	0	0	1
6	中 嶋 功 一	5	0	2	1	2
7	南 里 望知仁	2	0	1	0	4
8	小 柳 翔 生	4	0	2	0	0
9	江 嶋 雄 大	2	0	1	0	2
10	小 田 湧 気	2	0	1	0	2
11	浜 道 悠 治	22	0	10	2	2
12	藤 田 俊 祐	29	0	14	1	3
13	江 崎 一 織	0	0	0	0	2
14	原 口 孝	0	0	0	0	0
15	岩 崎 拓 哉	2	0	1	0	1
16	坂 井 俊 平	0	0	0	0	1
17	鈴 木 飛 翔	0	0	0	0	1
18	松 本 亮 太	0	0	0	0	0
合計		86	1	38	7	23

チーム名						
大津						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中 村 彰 宏	3	1	0	0	4
5	室 原 優 正	14	0	4	6	2
6	井 島 貴 宏	23	3	5	4	1
7	中 野 雄 太	4	0	2	0	4
8	池 上 進 伍	0	0	0	0	0
9	津 田 輝史朗	4	0	1	2	1
10	下 川 雄 生	0	0	0	0	0
11	管 淳 一	3	0	1	1	2
12	村 口 智 大	13	2	3	1	3
13	細 瀧 皓 生	0	0	0	0	0
14	甲 斐 洸太郎	0	0	0	0	0
15	成 瀬 善 記	0	0	0	0	0
16	芦 田 悠	0	0	0	0	0
17	明 永 謙 次	0	0	0	0	0
18	荒 木 儀 史	0	0	0	0	0
合計		64	6	16	14	17

☆戦評

1Q共にハーフコートマンツーマンでの立ち上がり。西海はリバウンドからの速攻を仕掛けるがシュートに繋げることができない。大津は、ドライブからの合わせ、チームオフENSから外角のシュートを決めていく。残り6分西海の#11浜道#12藤田、がリバウンドショット、ミドルシュートで得点を重ねて、西海はリズムに乗り出す。2Q序盤、西海は速攻がテンポ良く決まりだす。#12藤田は、ペイントエリアで着々と得点していく。大津は、外角のシュートが外れだし苦しい展開になる。西海は#4林田の個人技、#12藤田のミドルシュートで確実に得点を伸ばした。大津もドライブからの合わせ、FTなどを決めて、前半を51-29の西海リードで終える。

3Q大津は西海のリズムを狂わせようと積極的にDefを仕掛けるが、高さで勝る西海のリバウンドシュート、ポストプレーを抑える事ができない。速攻、インサイドプレーに加えて、外角のシュートも決まりだした西海は更にリードを広げる。4Qリズムに乗っている西海はDefでも足が動き出しスティールから得点を重ねる。大津は、途中出場の#11管が果敢にリバウンドに絡み、#6井島の3P、速攻に繋げるが、西海の勢いを抑えることができず最終スコア86-64で西海の勝利。

担当者(多田 賢司)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第4 試合 (1回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 14:30~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	7	—	27	得点	チーム名
	小林	57	14	—	27	98	福岡第一
			20	—	24		
			16	—	20		

チーム名						
小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中野裕平	3	0	1	1	0
5	石井聖也	12	0	5	2	5
6	平下優	0	0	0	0	1
7	山下隼人	9	0	3	3	2
8	原之村光貴	14	0	7	0	2
9	古藤純孝	7	1	2	0	2
10	田中芳典	0	0	0	0	0
11	河野成晃	4	0	2	0	1
12	楠元亮馬	2	0	1	0	0
13	石川拓巳	2	0	1	0	1
14	斉藤竜二	0	0	0	0	0
15	甲斐和寿	0	0	0	0	0
16	西村昌哉	2	0	1	0	1
17	甲斐直寿	0	0	0	0	0
18	永田朋郎	2	0	1	0	0
合計		57	1	24	6	15

チーム名						
福岡第一						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	幡本優生	4	0	2	0	2
5	小松雅輝	9	1	3	0	1
6	甚田翔也	4	0	2	0	1
7	田中光	10	0	4	2	0
8	山本純平	14	0	6	2	0
9	山口拓也	5	1	1	0	2
10	ゲイ・エルバジ・マリク	18	0	7	4	1
11	兼武秀行	0	0	0	0	0
12	テ・イップ・モータ	10	0	5	0	0
13	玉井友也	2	0	1	0	0
14	大城侑朔	0	0	0	0	1
15	吉岡真哉	2	0	1	0	0
16	志賀将斗	0	0	0	0	1
17	渡辺竜之佑	16	0	8	0	2
18	山田稜武	4	0	2	0	1
合計		98	2	42	8	12

☆戦評

両チームともにハーフマンツースタート。第一は激しいディフェンスから速攻を決め1Q6分、小林は4点差をつけられたところでタイムアウト。タイムアウト後、小林はオールコートプレスからゾーンを試みるが、流れは変わらず、第一は#10マリクのインサイドや持ち前の速いオフェンスで得点を重ねていく。

2Qも第一の激しいディフェンスは続き、#7田中、#8山本の速攻で得点を重ねる。流れを変えたい小林は、2-3のゾーンを織り交ぜたチェンジングディフェンスを仕掛ける。小林#7山下のドリブルスティールやドライブで応戦、#9古藤が終了間際3Pを沈めるが、33点差をつけられ、前半終了。

3Q小林は激しいディフェンスを攻めきれず3分間得点なしでタイムアウト。タイムアウト後、小林は#8原之村のオールラウンドプレイで得点を重ねる。

4Q立ち上がり、小林#11河野のファイトあふれるプレイで流れを掴む。フルメンバーチェンジした第一はスティールやインターセプトから速攻で応戦、一進一退の攻防となる。小林はメンバーチェンジを繰り返しながら粘りを見せるが、メンバー全員がコートでプレイした第一が98-57で勝利、前大会優勝の風格を見せた。

担当者(文野 政憲)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第5 試合 (2回戦)					
日時	平成23年2月12日(土) 16:00~					
会場	福岡市民体育館					
対戦結果	チーム名	得点	(34 — 18)	得点	チーム名	
	延岡学園	123	(33 — 18)	70	長崎西	
			(34 — 14)			
			(22 — 20)			

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩田大輝	15	0	7	1	3
5	ジョフバンバ	28	2	11	0	2
6	寺原拓史	7	0	3	1	2
7	黒木亮	16	0	8	0	2
8	田中駿也	13	1	5	0	1
9	善家耕太郎	2	0	1	0	2
10	岡本飛竜	0	0	0	0	1
11	平岡大志	4	0	2	0	1
12	佐藤友弘	0	0	0	0	1
13	寺園脩斗	0	0	0	0	1
14	ベンドラメ礼生	23	1	9	2	2
15	山田省吾	15	0	7	1	0
16	平田貴大	0	0	0	0	0
17	中島蒼	0	0	0	0	0
18	安堂遼	0	0	0	0	0
合計		123	4	53	5	18

チーム名						
長崎西						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山口拓哉	0	0	0	0	0
5	深江龍翼	16	0	7	2	1
6	浦里竜二	11	0	4	3	4
7	草野亜哉	23	1	9	2	0
8	城戸駿佑	8	0	3	2	2
9	大島正也	2	0	0	2	0
10	吉村天心	2	0	1	0	1
11	城戸勇太	0	0	0	0	0
12	峰 稔雄	0	0	0	0	0
13	古瀬稜河	4	0	1	2	1
14	森山世隆	0	0	0	0	0
15	大坪優大	4	0	2	0	4
16	木下 遼	0	0	0	0	0
17	宮崎 周	0	0	0	0	0
18	一 鈞 凌 佑	0	0	0	0	0
合計		70	1	27	13	13

☆戦評

1Q両チーム共にマンツーマンディフェンスでのスタート。開始早々延学#5ジェフのダンクシュートを含む全員が得点に絡む連続ゴールで一気にゲームの主導権を握る。対する長崎西は、中盤ゾーンディフェンスに変え、早い攻撃から流れをつくろうとするが、延学にオフェンスリバウンドを制され16点差で1Qを終了する。

2Q開始早々延学#14ベンドラメの3Pやリバウンドからの速攻で一気に点差を広げる。残り8分長崎西はたまたまずタイムアウトを取り、マンツーマンディフェンスに変え流れを変えようとする。長崎西は#5深江#7草野の3Pなどでくらくらいつこうとするが、延学の強いディフェンスからの速攻でなかなか点差が縮まらず、残り5分には延学#5ジェフのドライブからダンクシュート等で一気に点差を広げる。前半は終始延学がディフェンスリバウンドからの速攻でペースをつかんだゲーム展開であった。

3Q延学の勢いは止まらず、ディフェンスからの速攻と#5ジェフのインサイドのシュートで点差を広げる。残り6分長崎西は再びゾーンディフェンスを試みるが流れは変わらず、終盤長崎西#7草野の連続ゴール等で得点を重ねるが、3Qは延学の一方的な試合展開であった。

4Qは一転し、長崎西の1-2-2ゾーンプレスから3-2ゾーンで反撃に出る。今までの流れとは逆に長崎西がディフェンスから速攻で点数を重ねるが、延学も終盤長崎西に疲れが見えてきたところで盛り返す。終わってみれば、自力に勝る延学の圧勝であった。

担当者(伊藤啓一)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第5 試合 (2回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 16:00~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	19	—	26	得点	チーム名
	九州学院	82	20	—	24	89	福大大濠
			19	—	20		
			24	—	19		

チーム名							
九州学院							
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則	
4	本 部 達 也	19	1	7	2	2	
5	石 井 寛 二	10	0	4	2	3	
6	森 川 湧 斗	26	5	5	1	0	
7	出 口 凌 大	8	2	1	0	2	
8	坂 梨 佑 太	6	0	3	0	3	
9	澤 邊 圭 太	12	1	3	3	5	
10	鎌 崎 空 也	0	0	0	0	0	
11	黒 田 章 吾	1	0	0	1	4	
12	宇 佐 仁 孝	0	0	0	0	0	
13	井 芹 将 斗	0	0	0	0	0	
14	竹 内 大 樹	0	0	0	0	0	
15	鹿 田 紹 義	0	0	0	0	0	
16	山 口 恵 史	0	0	0	0	0	
17	高 本 悠 紀 人	0	0	0	0	0	
18	田 尻 裕 明	0	0	0	0	0	
合計		82	9	23	9	19	

チーム名							
福大大濠							
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則	
4	福 元 直 人	18	0	8	2	0	
5	能 隅 彰 太	9	0	4	1	0	
6	渡 邊 秀 人	3	0	1	1	0	
7	高 野 慎 也	16	0	8	0	0	
8	徳 住 颯 晟	21	0	8	5	0	
9	村 越 圭 佑	22	0	9	4	0	
10	元 田 大 貴	0	0	0	0	0	
11	瀧 上 幸 作	0	0	0	0	0	
12	石 川 雅 朗	0	0	0	0	0	
13	高 妻 進 之 介	0	0	0	0	0	
14	中 尾 涉	0	0	0	0	0	
15	水 江 祐 稀	0	0	0	0	0	
16	八 谷 皓	0	0	0	0	0	
17	青 木 春 磨	0	0	0	0	0	
18	原 大 和	0	0	0	0	0	
合計		89	0	38	13	0	

☆戦評

1Q開始早々、大濠はDefリバウンドから速攻、九学のターンオーバーから連続得点を決める。残り7分九学はタイムアウト。流れを変えようと2-1-2(ゾーンプレス)から2-3(ゾーン)を仕掛ける。残り3分、九学#4本部、#9澤邊の連続3Pで点差を縮める。2Q九学はゾーンDefを継続する。大濠は#8徳住、#9船越のインサイドで得点を重ねるもリズムには乗れない。九学はナンバープレーから#5石井のゴール下シュート、#6森川、#7鎌崎の3Pを決める。九学のゾーンDefに対して大濠は簡単なミスをしてしまうが、それを得点に結びつけることができない。要所でミドルシュートを確実に決めた大濠が50-39のリードで前半を終えた。

3Q序盤、大濠にリバウンドシュート、速攻を許した九学は残り7分でタイムアウト。再度、流れを変えようとDefを1-1-3に変える。大濠のミスから、#6の連続3P、#4のドライブインで一時は6点差まで縮めるが、大濠も最後に粘り12点差で3Qを終える。4Q九学は#7、#6の3Pで応戦する。残り4分、九学#7、#4の連続得点で6点差に追いつき大濠はタイムアウト。九学は#6森川のシュートで何度も反撃を試みるが、高さで勝る大濠が、粘り強くゴール下で得点を重ね89-79で勝利した。

担当者(多田 賢司)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第6 試合 (2回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 17:30~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	30	—	14	得点	チーム名
	興南	100	21	—	26	83	れいめい
			24	—	23		
			25	—	20		

チーム名							
興南							
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則	
4	上原大輝	24	2	7	4	2	
5	島袋大輔	11	1	4	0	1	
6	税所啓	10	2	1	2	4	
7	仲村兼太	10	1	3	1	1	
8	仲西智彦	0	0	0	0	2	
9	嘉数潤也	25	0	11	3	0	
10	知名大志	14	0	7	0	3	
11	久場兼蔵	2	0	1	0	0	
12	大仲良樹	0	0	0	0	0	
13	上地阜月	0	0	0	0	0	
14	寄川龍功	2	0	1	0	1	
15	照喜名航	0	0	0	0	1	
16	豊見山俊	0	0	0	0	1	
17	比屋根和太	0	0	0	0	0	
18	満島光太郎	2	0	1	0	3	
合計		100	6	36	10	19	

チーム名							
れいめい							
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則	
4	濱田純旗	19	1	7	2	1	
5	坊ノ下佳樹	10	2	1	2	2	
6	賦句圭亮	8	1	2	1	0	
7	丸田潤	10	0	3	4	4	
8	前田啓	0	0	0	0	0	
9	大井智義	15	3	3	0	2	
10	福元聖人	0	0	0	0	0	
11	村上聖将	0	0	0	0	0	
12	田畑玲次朗	0	0	0	0	0	
13	重留翼	8	0	4	0	4	
14	黒木大輔	0	0	0	0	0	
15	竹山雅道	0	0	0	0	0	
16	下川侑祐	0	0	0	0	0	
17	福重直洋	0	0	0	0	0	
18	川口慧	13	0	6	1	1	
合計		83	7	26	10	14	

☆戦評

1Qお互いにマンツーマンディフェンスでスタート。れいめいは、積極的にアウトサイドをねらうが決まらない。一方、興南はリバウンドを制し速攻からの得点と、#9嘉数のリバウンドショットなどで着実に点を重ねる。残り3分、れいめいはタイムアウト。ここから、#7丸田のドライブで応戦するが、30-14で1Qを終了する。2Q開始から、れいめいは積極的にディフェンスでプレッシャーを与え相手のミスを誘うと、#4濱田のドライブで得点する。アウトサイドシュートも徐々に決まりだし、反撃を試みるが、興南#9嘉数#15照喜名の3Pで追撃を許さない。れいめい#9大井のゴール下などの粘りを見せるが51-40興南リードで前半を終えた。3QれいめいはDEFリバウンドを徹底し、#9大井のオールラウンドなプレイで得点し追い上げるが、興南は#10知名の連続シュートで傾きかけた流れを食い止めると、徹底したインサイドプレーで追撃を許さず3Qを終了。4Qれいめいは#7のドライブで応戦するものの、興南#4上原のオールラウンドな活躍と#9嘉数のOFEリバウンドやインサイドで徐々に引き離しにかかる。終始、自分たちのリズムで戦った興南が100-83で勝利し、ベスト4を決めた。

担当者(原田 直和)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第6 試合 (2回戦)						
日時	平成23年2月12日(土) 17:30~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	9	—	35	得点	チーム名
	西海学園	78	18	—	30	115	福岡第一
			23	—	22		
			28	—	28		

チーム名						
西海学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	林 田 順 平	26	6	3	2	3
5	米 満 圭 輔	0	0	0	0	0
6	中 嶋 功 一	4	0	2	0	3
7	南 里 望知仁	0	0	0	0	0
8	小 柳 翔 生	0	0	0	0	0
9	江 嶋 雄 大	0	0	0	0	0
10	小 田 湧 気	7	0	3	1	3
11	浜 道 悠 治	20	0	9	2	3
12	藤 田 俊 祐	18	0	9	0	3
13	江 崎 一 織	0	0	0	0	1
14	原 口 孝	0	0	0	0	0
15	岩 崎 拓 哉	3	0	1	1	1
16	坂 井 俊 平	0	0	0	0	0
17	鈴 木 飛 翔	0	0	0	0	0
18	松 本 亮 太	0	0	0	0	0
合計		78	6	27	6	17

チーム名						
福岡第一						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	幡 本 優 生	3	0	1	1	0
5	小 松 雅 輝	5	1	1	0	0
6	甚 田 翔 也	0	0	0	0	0
7	田 中 光	12	0	6	0	0
8	山 本 純 平	12	0	6	0	1
9	山 口 拓 也	21	5	3	0	0
10	ケイ・エルヴィン・マリック	13	0	5	3	1
11	兼 武 秀 行	4	0	2	0	1
12	デイヴ・モータ	11	1	4	0	5
13	玉 井 友 也	4	0	2	0	1
14	大 城 侑 朔	4	0	1	2	1
15	吉 岡 真 哉	0	0	0	0	0
16	志 賀 将 斗	2	0	1	0	0
17	渡 辺 竜之佑	15	0	7	1	1
18	山 田 稜 武	9	0	4	1	2
合計		115	7	43	8	13

☆戦評

1Q共にマンツーマンの立ち上がり、福岡第一の厳しいDFからの速攻、#10マリックの高さを生かした攻撃、#9山口の3本連続3Pなどで得点を重ねる。西海学園は立ち上がりから流れに乗れず残り6分でタイムアウトをとるが徐々に点差が開く。
 2Q西海学園は2-3ゾーンを張り#12藤田のドライブ、ミドルシュートで流れを変えようと試みる。福岡第一はゾーンオフェンスがテンポ良く、#14渡辺の1対1などで加点、前半27-65で前半終了。
 3Q、西海学園は3-2ゾーンなどで反撃を試みる。インサイドでは#12藤田カウントワンショット、アウトサイドでは#4林田の3Pなどで追い上げるが、福岡第一の#7田中の3Pなどで点差は変わらず、残り3分46秒でタイムアウト。DFをマンツーマンに切り替え#12藤田のゴール下、#11浜道のバスケットカウントなどで食い下がる。
 ラスト4Q西海学園#4林田の3P、#11浜道のゴール下で必死の追い上げを見せるも、前半の点差は縮まらず選手層の厚い福岡第一がベスト4入りを果たした。

担当者(多田 義文)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第2 試合 準決勝						
日時	平成23年2月13日(日) 11:30~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	33	—	19	得点	チーム名
	延岡学園	104	14	—	9	58	福大大濠
			36	—	18		
			21	—	12		

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩田大輝	26	1	11	1	1
5	ジョフバンバ	19	1	8	0	3
6	寺原拓史	13	1	5	0	1
7	黒木亮	4	0	2	0	1
8	田中駿也	5	1	1	0	0
9	善家耕太郎	2	0	1	0	2
10	岡本飛竜	4	0	2	0	2
11	平岡大志	4	0	2	0	3
12	佐藤友弘	0	0	0	0	0
13	寺園脩斗	2	0	1	0	0
14	ベンドラメ礼生	19	2	6	1	1
15	山田省吾	4	0	2	0	0
16	平田貴大	2	0	1	0	1
17	中島蒼	0	0	0	0	0
18	安堂遼	0	0	0	0	0
合計		104	6	42	2	15

チーム名						
福大大濠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	福元直人	19	2	4	5	1
5	能隅彰太	13	1	4	2	5
6	渡邊秀人	0	0	0	0	1
7	高野慎也	2	0	1	0	1
8	徳住颯晟	8	0	4	0	1
9	村越圭佑	8	1	2	1	0
10	元田大貴	0	0	0	0	0
11	淵上幸作	2	0	1	0	3
12	石川雅朗	2	0	1	0	0
13	高妻進之介	0	0	0	0	0
14	中尾渉	4	0	2	0	1
15	水江祐稀	0	0	0	0	0
16	八谷皓	0	0	0	0	0
17	青木春磨	0	0	0	0	0
18	原大和	0	0	0	0	0
合計		58	4	19	8	13

☆戦評

宮崎県1位 延学対福岡県 2位大濠の準決勝。1Q開始早々、延学#4岩田の3連続ゴール、#5ジョフのゴール下で得点を重ねる。対する大濠は、#9村越の3P、#5能隅のミドルシュートで応戦。残り4分、延学#6寺原の連続ゴールで点差を10点にする。大濠も#4福本、#9村越が得点するが終了間際に、#4岩田の3P、#14ベンドラメのブザービーターが決まり点差を14点に広げた。2Q延学は激しいDefから大濠のミスを誘い、#14ベンドラメの個人技、#7黒木の得点に繋げる。苦しい状況の大濠だが#4福本が2P、3Pを決めて粘りを見せる。残り2分、大濠はタイムアウトを取り、オールコートDefを仕掛けるが点差を縮めることができず47-29延学リードで前半を終了する。

3Q序盤、延学の堅いDefから得点をする事ができない大濠。対する延学はリズムの良いOffから次々と得点を量産していく。残り5分、大濠はタイムアウトをとり反撃を試みるが、波に乗った延学の多彩なOffに対応することができない。#4福本、途中出場の#14中尾が得点するも、延学#6寺原のブザービーターが決まり、83-46と更に点差を広げた。4Q延学は控えメンバーが出場するも、勢いはそのまま中、外と確実に得点を重ねていった。大濠も、#4福本、#9村越を中心に粘りを見せるがリズムを取り戻すことができなかった。終始、息の合った激しいDefからのテンポの良い多彩なOffで圧倒した延学が104-58で勝利して決勝戦へ駒を進めた。

担当者(多田 賢司)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第2 試合 準決勝						
日時	平成23年2月13日(日) 11:30~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	16	—	30	得点	チーム名
	興南	44	11	—	20	89	福岡第一
			6	—	20		
			11	—	19		

チーム名						
興南						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	上原大輝	5	0	2	1	3
5	島袋大輔	2	0	1	0	2
6	税所啓	6	1	1	1	3
7	仲村兼太	0	0	0	0	2
8	仲西智彦	2	0	0	2	1
9	嘉数潤也	14	2	4	0	2
10	知名大志	4	0	2	0	1
11	久場兼蔵	3	1	0	0	0
12	大仲良樹	0	0	0	0	0
13	上地皐月	2	0	1	0	0
14	寄川龍功	0	0	0	0	0
15	照喜名航	0	0	0	0	0
16	豊見山俊	0	0	0	0	1
17	比屋根和太	0	0	0	0	0
18	満島光太郎	6	0	3	0	0
合計		44	4	14	4	15

チーム名						
福岡第一						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	幡本優生	0	0	0	0	4
5	小松雅輝	0	0	0	0	0
6	甚田翔也	1	0	0	1	1
7	田中光	16	2	5	0	0
8	山本純平	17	2	3	5	1
9	山口拓也	14	2	4	0	0
10	ゲイ・エルジ・マリク	15	0	6	3	2
11	兼武秀行	4	0	2	0	0
12	デイヴ・モータ	0	0	0	0	0
13	玉井友也	7	1	2	0	0
14	大城侑朔	4	0	2	0	3
15	吉岡真哉	0	0	0	0	1
16	志賀将斗	5	1	1	0	0
17	渡辺竜之佑	6	0	3	0	1
18	山田稜武	0	0	0	0	0
合計		89	8	28	9	13

☆戦評

準決勝は、福岡県1位、福岡第一と、沖縄県1位、興南の対戦となった。1Q出しはともにマンツーマンディフェンスでスタート。興南は第一の高さに対し、アウトサイドシュートを狙うが入らない。第一はDEFリバウンドを制すと、速攻や#10マリクを起点としたインサイドで得点する。リズムを掴めない興南は、残り4分にタイムアウト。#4上原のドライブから勢いづき流れが興南に傾きかけるが、第一#7田中が3Pを沈め、30-16で1Qを終了。2QインサイドのDEFを固める興南に対し、第一は#7田中、#8山本の3Pで突き放す。興南は果敢にドライブを仕掛けるも第一の壁にはね返され得点が伸びず、50-27第一リードで前半を終える。

3Qお互いリズムが掴めない時間が続き、残り5分で第一#4幡本が4つ目のファウルをおかす。ここで交代した#14大城がスティールから得点すると、#17渡辺、#12モータが積極的なDEFから興南のミスを誘い得点する。1年生のフレッシュな頑張りにより70-33とリードを広げ3Qを終了する。4Qに入ると、第一はうまいパス回しと、第一らしいスピードあるOFFで得点する。興南も#8嘉数の積極的なドライブや#15照喜名が3Pを試みるも、第一のDEFに得点を伸ばせない。終わってみれば、89-44の大差で第一が勝利し、決勝戦へと駒を進めた。

担当者(原田 直和)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第4 試合 シード決定戦						
日時	平成23年2月13日(日) 15:00~						
会場	福岡市民体育館						
対戦結果	チーム名	得点	20	—	21	得点	チーム名
	福大大濠	99	25	—	25	84	興南
			21	—	17		
			33	—	21		

チーム名						
福大大濠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	福元直人	34	1	12	7	1
5	能隅彰太	17	0	7	3	1
6	渡邊秀人	0	0	0	0	0
7	高野慎也	4	0	2	0	0
8	徳住颯晟	16	0	5	6	3
9	村越圭佑	16	0	8	0	4
10	元田大貴	0	0	0	0	0
11	淵上幸作	0	0	0	0	1
12	石川雅朗	12	2	2	2	2
13	高妻進之介	0	0	0	0	0
14	中尾渉	0	0	0	0	0
15	水江祐稀	0	0	0	0	0
16	八谷皓	0	0	0	0	0
17	青木春磨	0	0	0	0	0
18	原大和	0	0	0	0	0
合計		99	3	36	18	12

チーム名						
興南						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	上原大輝	26	3	8	1	2
5	島袋大輔	12	2	2	2	2
6	税所啓	18	1	6	3	3
7	仲村兼太	6	0	3	0	3
8	仲西智彦	0	0	0	0	2
9	嘉数潤也	14	0	7	0	1
10	知名大志	8	0	4	0	3
11	久場兼蔵	0	0	0	0	0
12	大仲良樹	0	0	0	0	0
13	上地皐月	0	0	0	0	0
14	寄川龍功	0	0	0	0	2
15	照喜名航	0	0	0	0	0
16	豊見山俊	0	0	0	0	0
17	比屋根和太	0	0	0	0	0
18	満島光太郎	0	0	0	0	1
合計		84	6	30	6	19

☆戦評

福岡県2位 福大大濠対沖縄県1位 興南のシード決定戦。1Q序盤、大濠は#4福元を中心にテンポの良いOffを展開し、#9村越のゴール下で得点を重ねる。一方、個々の能力が高い興南は、速い展開から1ON1を仕掛け得点に繋げていく。大濠はリズム良くシュートを放つが、ネットを揺らすことができない。興南は、激しいDefから次々と速攻を決める。終了間際、興南#6税所が積極的にリバウンドに絡み得点。2Q大濠#4福元、興南#4上原がOffの起点となり得点を挙げるが、要所でミスをしてしまい主導権を掴めない状態が続き、大濠45-46興南で前半を折り返す。3Q立ち上がり、興南#5島袋の3P、大濠#8徳住の2Pで得点。大濠は#7高野のパスカットからのレイアップ、2P、#4福元の個人技で得点を重ね逆転に成功。興南は#5島袋が3P、#4上原のゴール下でしぶとく喰らいつく。大濠が得点を挙げると、興南が決め返す一進一退の攻防が続くが、大濠#12石川の3P、#9村越のゴール下で5点差にして3Q終了。4Q興南は#9嘉数の連続得点。大濠も#4福元が連続得点を返し、序盤から点の入れ合いになる。大濠は、激しいDefからミスを誘い得点に繋げ、徐々にリズムを掴みだす。途中出場の大濠#12石川がシュート、アシストと役割を果たす。興南は#4上原、#6税所の執念の3Pを決めるが大濠の勢いを止めることができずに99-84で大濠が勝利。苦しい状況でもチームを引っ張り続けた大濠#4福元は34得点12アシストの圧巻の活躍だった。

担当者(多田 賢司)

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第4 試合 決勝					
日時	平成23年2月13日(日) 15:00～					
会場	福岡市民体育館					
対戦結果	チーム名	得点	(18 — 25)	得点	チーム名	
	延岡学園	96	(33 — 14)	91	福岡第一	
			(30 — 22)			
			(15 — 30)			

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩田 大輝	18	0	3	12	3
5	ジョフ バンバ	32	2	9	8	4
6	寺原 拓史	10	0	5	0	1
7	黒木 亮	6	0	2	2	4
8	田中 駿也	0	0	0	0	1
9	善家 耕太郎	0	0	0	0	0
10	岡本 飛竜	0	0	0	0	0
11	平岡 大志	0	0	0	0	0
12	佐藤 友弘	0	0	0	0	0
13	寺園 脩斗	0	0	0	0	0
14	ベンドラメ礼生	30	3	7	7	1
15	山田 省吾	0	0	0	0	0
16	平田 貴大	0	0	0	0	0
17	中島 蒼	0	0	0	0	0
18	安堂 遼	0	0	0	0	0
合計		96	5	26	29	14

チーム名						
福岡第一						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	幡本 優生	2	0	1	0	3
5	小松 雅輝	12	2	1	4	2
6	甚田 翔也	0	0	0	0	0
7	田中 光	15	3	3	0	3
8	山本 純平	27	1	10	4	2
9	山口 拓也	22	4	4	2	5
10	ゲイ・エルバツ・マリク	2	0	1	0	5
11	兼武 秀行	0	0	0	0	0
12	テ・オッフ・モータ	9	1	3	0	2
13	玉井 友也	0	0	0	0	0
14	大城 侑朔	2	0	1	0	0
15	吉岡 真哉	0	0	0	0	0
16	志賀 将斗	0	0	0	0	0
17	渡辺 竜之佑	0	0	0	0	0
18	山田 稜武	0	0	0	0	0
合計		91	11	24	10	22

☆戦評

宮崎県1位の延岡学園と福岡県1位の福岡第一による、3年連続となるの決勝戦。お互いに、順当かつ圧倒的な強さで勝ち上がってきており、注目される一戦である。

1Qお互いマンツーマンディフェンスでスタート。第一は#8山本、#7田中、#9山口の高確率なアウトサイドで得点。延岡は、#5バンバのインサイドや#14ベンドラメのドライブで得点する。残り4分、第一#10マリクが2回目のファウルで#12モータラに交代。モータラが奮闘し25-18第一リードで1Qを終了。2Qに入り延岡#14ベンドラメのドライブが決まるとそこから徐々に流れを掴む。2-3ゾーンから第一の連続ミスを誘い、残り6分には#5バンバのダンクで逆転に成功。残り4分、第一はタイムアウト後に2-3のゾーンを敷くが、延岡はこれを上手く攻略し、第一たまたま2回目のタイムアウト。さらに勢いづく延岡が12点リードで前半を終える。

3Q流れを掴みたい第一は、積極的にアウトサイドを放つが、入らない。#8山本の連続バスケットカウントで流れを掴みかけるが、残り6分、延岡が再び2-3のゾーンを敷くと得点が伸びない。残り5分第一はタイムアウトをとり、オールコート1-2-2のゾーンプレスから反撃を試みる。そこからお互い点の取り合いとなり81-61延岡リードで3Qを終了。4Q反撃したい第一は、出だしからオールコート2-2-1ゾーンプレスでプレッシャーを与えると、#8山本のショットも決まりだし、11点差とする。4分で3点と得点の伸びない延岡はタイムアウト。しかし、流れは変わらず第一#7田中の3P、#8山本のバスケットカウントで一気に差をつめる。逆転を信じる#5小松の3P、ドライブからのバスケットカウントなどアグレッシブな活躍もあったが、96-91で延岡が逃げきり、優勝を飾る。決勝戦にふさわしい、見応えのあるゲームだった。

担当者(原田 直和)